

第2回富津市道の駅整備検討委員会 会議録

1 会議の名称	第2回富津市道の駅整備検討委員会
2 開催日時	令和8年1月16日（金）午後2時～午後3時50分
3 開催場所	富津市役所2階 第3委員会室
4 審議等事項	(1) 各候補地の条件整理と課題について (2) 導入機能の検討について
5 出席者名	富津市道の駅整備検討委員（12名） 内閣府認定 地域活性化伝道師 浅尾 均 帝京大学経済学部 教授 麻生 憲一 一般財団法人千葉県まちづくり公社 まちづくり情報センター長 小川 剛志 地域行政・建設土木実務経験者 川口 泰明 松蔭大学観光メディア文化学部 教授 古賀 学（委員長） 航空・旅行アナリスト 帝京大学理工学部 非常勤講師 鳥海 高太朗 明治大学商学部 特任准教授 松尾 隆策 敬愛大学情報マネジメント学部 教授 三浦 知子（副委員長） 富津市議会代表 宮崎 晴幸 富津市議会代表 三富 敏史 富津市議会代表 諸岡 賛陞 富津市副市長 中山 正之 オブザーバー（5名） 国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 計画課地域調査係長 木野 雄一 千葉県県土整備部 道路計画課 管理調整班長 甲斐 進太郎 千葉県県土整備部 君津土木事務所 調整課 主査 岩田 知之 富津市総務部長 石川 富博 富津市建設経済部長 棟方 雅典 富津市長 高橋 恭市 事務局（5名） 企画政策部 部長 阿部 淳一郎、次長 佐藤 慎也 政策推進課 課長 平島 光洋、課長補佐 高橋 亮介、主任主事 山田 章岐
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開

7 非公開の理由	
8 傍聴人数	18人（定員20人）
9 所管課	企画政策部政策推進課 電話 0439-32-1931
10 会議録 （発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証し承認いたします。

令和8年2月25日 富津市道の駅整備検討委員 麻生 憲一

宮崎 晴幸

第2回富津市道の駅整備検討委員会 会議録

発言者	発言内容
事務局	<p>皆さんこんにちは。本日はご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。開会に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>お配りしました資料は、机上に配布いたしました、会議次第、委員会名簿、席次表、資料1「第1回道の駅整備検討委員会での主な意見・質問等一覧」、資料2「導入機能・規模について」、以上が本日の会議資料でございます。資料はお揃いでしょうか。</p> <p><b>1 開会</b></p>
事務局	<p>それでは、ただいまから「第2回富津市道の駅整備検討委員会」を開会いたします。初めに、本日の委員の出席状況をご報告させていただきます。12名の委員のうち、本日全員ご出席いただいておりますので、富津市道の駅整備検討委員会設置要綱第6条第2項の規定により、会議が成立していることを、ご報告申し上げます。</p> <p>続きまして、会議の公開についてですが、本日18名の傍聴者がおりますことをご報告させていただきます。</p> <p>また、会議録作成のため、録音機を使用するとともに、会議の様子について写真撮影をさせていただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>なお、会議中にご発言の際は、机上にございます卓上型マイクが赤く点灯スイッチが入りますので、そちらをご使用いただきますようお願いいたします。</p> <p>続きまして、委員長からごあいさつをお願いします。</p> <p><b>2 委員長あいさつ</b></p>
委員長	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。2回目になりますけれども、前回いろいろ活発なご議論をいただきましたので、今回もぜひ様々な皆様の知見を発揮していただいて、良い会議となればよいと思っております。</p> <p>千葉県は、鉄道の代わりにほとんどの観光客は自動車を利用してきているところで、様々な道の駅がありますけれども、富津市としても自動車利用者のための拠点づくりというのは、ある意味不可欠なことなのかもしれません。良い道の駅の開設に向けていろいろご議論をいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは、富津市道の駅整備検討委員会設置要綱第6条第1項の規定により、委員長に議長となっいただき議事運営をお願いいたします。</p> <p>委員長、よろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>本日の会議につきましては、大体16時を目途に進めていきたいと思っております。</p>

	<p>でよろしくお願ひいたします。</p> <p>まず初めに、本日の会議録承認委員を指名させていただきます。本日の会議につきましては会議録案の作成後、麻生委員と宮崎委員に承認をお願いしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
委員長	<p><b>3 議題（１）各候補地の条件整理と課題について</b></p> <p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>まず初めに、議題（１）「各候補地の条件整理と課題について」に入ります。</p> <p>事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（事務局説明）</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局の説明が終わりましたが、議題（１）については、事務局からの報告事項になりますので、ご意見等につきましては次の議題（２）「導入機能の検討について」の説明の後に、併せてお伺いしたいと思います。</p>
委員長	<p><b>3 議題（２）導入機能の検討について</b></p> <p>それでは、議題（２）「導入機能の検討について」に入りたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はじめに、議題（２）を設定した経緯につきまして、ご説明いたします。ただいま議題（１）でご説明しましたとおり、前回の委員会におきまして、事務局からはまず設置予定地を決定したい旨を提案したところですが、多くの委員の方から、設置予定地の検討にあたっては、導入する機能や規模の方向性のある程度決めた方がよいのではないかとのご意見をいただきました。</p> <p>こうしたご意見を受けまして、市として改めてどのような道の駅にしたいか、また想定する規模についての考えをお示して、委員会でご意見を伺いながら、導入機能についても設置予定地と併せて検討していきたいと考え、今回この議題を設定したものでございます。</p>
市長	<p>それでは、私から発言をさせていただきたいと思います。ただいま、事務局から議論の進め方について説明がありましたが、道の駅設置の目的につきまして、改めてお伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>現在、本市が直面している最も大きな課題は、人口減少と少子高齢化であります。これは全国的な問題でもありますが、特に私たち富津市を含めます千葉県南部ではその影響が顕著に現れています。若い世代の流出が続く中で、地域に人々が集まり、賑わいを生む場所や働く場所が必要だと、私自身強く感じています。</p> <p>その中で、市の中心に位置いたします「大佐和地区」は、高速道路を利用する来訪者が本市に最初に訪れる場所となります。ここに観光拠点として道の駅を設置することは、富津市の魅力を知ってもらうきっかけとなり、将来的な関係人口の拡大や、結果として移住や定住にもつながるものと期待しております。</p> <p>また、道の駅の代表的な施設であります産地直売所や飲食スペースにつきまし</p>

	<p>ては、地元の小規模な生産者の皆さんにも参加いただける場とし、地域の農産物や特産品などを提供できるようにしたいと考えております。こうした取組みを通じて、地域の皆さんが自然に立ち寄り、交流が生まれる場となり、地域の賑わいに結びついていくとともに、地元経済の活性化につながるものと期待しております。</p> <p>また、近年は大規模災害の発生頻度が以前にも増して高まっており、防災機能の強化が急務となっています。道の駅には、避難場所や救援部隊の活動拠点としての機能をはじめ、災害時の情報提供や物資の受入れにも対応できる体制を整えることで、地域の防災体制強化につながるものと考えております。</p> <p>これらの目的を達成するため、必要な機能を有した道の駅を設置したいと考えておりますが、本市の財政状況を踏まえ、初期段階から大規模な整備を行うことは現実的ではないため、まずは実現可能な規模で整備を進め、将来的には、地域や来訪者のニーズ、さらには時代の変化に応じて段階的に機能を拡充していくという方向で進めてまいりたいと考えております。</p> <p>このあと事務局から、前回ご提示いたしました設置目的等から一步踏み込んだ内容をご説明させていただきますので、委員の皆さまの忌憚のないご意見を賜りたくお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。今、事務局からは本議題を設定した経緯の説明がありました。それから市長からは、道の駅の設置目的について改めてご発言をいただきました。これらを踏まえて議論を進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは改めて、議題（２）「導入機能の検討について」事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（事務局説明）</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>最初に議題（１）の説明があり、次に議題（２）の説明がありました。</p> <p>いろいろな基礎的な条件やインフラ、上下水道、交通のアプローチなどについて各専門の団体からもご意見をいただいているとのことで、それからもう少し市の方から改めて目的だとか、それぞれの各種条件について整理していただいて、最後に資料２の９ページにまとめていただいております。こういったことにつきまして、改めてご意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、事務局の説明の中でもありましたように、皆様方はいろいろな事例を把握されているのではないかと思いますので、先ほど高齢者に対応した機能などもありましたけれども、他にもいろいろご意見をいただけたらなと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは皆様の中でどなたでも結構ですので、何かご意見ありましたらご発言いただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私の方から第１回目の検討委員会で、将来的なインフラ整備である上水道や排水について調査が必要だと発言させていただいたところ、今回非常にわかりやすく資料を作ってください丁寧な説明をしていただきまして、大変参考になりました。ありがとうございました。</p> <p>そういった中で、少し私の方から設置場所についてお話させていただきたいと</p>

	<p>思います。道の駅の築造については、限られた予算の中でやはり最大限の効果を出せるよう、計画・工夫しなければいけないと考えています。そこで何を優先すべきなのか、何がポイントなのかということを見ると、やはり施設機能の充実を優先すべきではないかなと考えました。よって、インフラ整備としての上水道、排水、交通、造成費用について、今事務局で詳細な説明がありましたけれども、費用面とか関係機関との協議の必要性など総合的に判断しますと、これらの初期投資は、インフラ整備として最初の投資になると思いますけれども、やはり費用を含めてかなりの負担がかかり、事業全体を圧迫するように思いました。</p> <p>よって、これらを極力抑えて、施設機能の充実を図るために予算を投入した方が良いのではないかと私は考えました。そこで、事務局から示されました候補地3か所について今議論しているところですが、やはり施設機能の充実ということを優先で考えますと、3候補地案とは別に初期投資を抑えて、初期のアクションがスムーズに進められる場所として、市とすれば大佐和地区、すなわち、富津中央インターから比較的近い場所というところで、示されておりますので、この富津中央インターからさほど離れていないところで3案とは別に、遊休地とか市有地といったところについて、経費の削減という点や、何を優先順位にするのかを考えた中で検討されてはどうかと考えました。</p> <p>また、優先順位を重んじると同時に、段階的な整備ということで事務局の方から説明がありましたけれども、私もこれは賛成です。要はPDCAの形をとりながら利用者のニーズとか実績、世の中の変化等を踏まえた段階的な機能や利便性の向上や、この強化というのも必要だなと思ったところでございます。以上でございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他に何かございますか。</p>
委員	<p>今、委員からご指摘があったことに私も大賛成でございまして、第1回目において事務局の方からインター周辺で用地を取得して、またかなりのアップダウンがあり、造成をしなければいけないということで、かなりの費用を市の方で出さなければいけないというお話がございました。私の知っているデベロッパーさんにPFI等でこういう場所で、もしやるとしたら可能性はどうかということについて、いくつかお声掛けをさせていただきましたが、ほとんどの会社さんがちょっと無理でしょうというご回答でした。</p> <p>そう考えたときに、前回の委員会でインターから10分以内ぐらいというところのご発言があり、私も少し勉強させていただいて、関東地方で人気のあるランキング上位の道の駅の立地条件を少し調べさせていただいたのですけれども、大体インターから5キロ、10分ぐらいであれば全然問題なく賑わっている。</p> <p>また交通量については、多ければ多いほどよいというのもありますけれども、比較的1万台以下、群馬県にある道の駅川場田園プラザなどは1日に4,000台ぐらいしか走っていない。そういうところでも十分人気があるので、立地条件でインター近くというところに固執するのではなく、さきほどお話がありましたように、もう少し範囲を広げて、国道127号沿道であればいけるのではないかなと考えております。</p> <p>それと県内、他の都道府県もそうですけれども、結構学校の統廃合があって、廃校になっている施設があります。なかなか使われていないということで、それを道の駅に転換するという事例が増えている。保田小が県内においては良い事例</p>

	<p>だと思えますけれども、初期投資をなるべく抑えるという意味では市が持っている施設を有効に使うというのは、一つのやり方かなと思います。</p> <p>それと段階的な整備はごもっともだと思いますけれども、川場田園プラザなどは、今から20年前に計画を立てて、ある程度の将来見込みを作って、完成形はこのぐらいまで広げようということで、初めは数ヘクタールから始めたということですが、行ってみるとよくわかると思えますけれども、デザインが統一されており、瓦や白壁など昔の古民家風なものを一つのコンセプトとして作っているということがあります。段階的に進めるということに異議はないのですけれども、ある程度の青写真、コンセプトを作った中で、立地を決めていくということは、重要なのかなと思っております。私からは以上でございます。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。今、廃校について話がありましたが、周辺にそういった施設はあるのでしょうか。事務局の方で、何か今のご意見に対してありますか。</p>
事務局	<p>はい。ご意見ありがとうございます。廃校になっているところも大佐和地区にはあります。インター近くでなくても、10分以内であれば問題ないというようなご意見もありましたので、その辺も考えながら新たな場所を探していくことも、これからやっていこうと考えております。以上です。</p>
委員長	<p>候補地については、第4案として改めてあまり立地にこだわらず、集客力のあるものを作れば、多少立地が不便なところでも大丈夫ではないか、その方がインフラ整備の省力化が図れるので、そういう方向もあるのではないかとのお話だと思いますけれども、他に委員の方、何かご意見はございますか。</p>
委員	<p>いろいろな議論があり、前に進んでいるなど感じましたが、私も立地に関しては、この南房総という特性を考えるとインターからの距離でいうと10分以内かなとは思っています。それより遠いと南房総市などには、道の駅がたくさんありますし、やはり遠すぎるというのも微妙かなと感じているところがあります。</p> <p>それと、先ほど事務局の事例説明の中で周辺の民間施設とうまく合わせるとのお話もありましたけれども、例えば静岡県熱海市と三島市の間にある函南町の道の駅は、すぐ隣に民間施設の「めんたいパーク」があります。民間の施設も道の駅の周辺でうまく相乗効果を生み出す場所で、民間がのっかってくれるという希望的観測も込めてということになりますが、そういったことを見据えた形もあっていいのかなと思っています。</p> <p>それから、少し言い方を変えると、箱物というものになりますが、道の駅を作るにあたって、やはり誰もいない状況を作りたくない。常に人がいる環境を作ってほしいなのも同時にあります。1年前のニューヨーク・タイムズの今年行くべき52か所に「富山市」が選出されました。その中で、建築家の隈研吾さんが設計を手がけた「ガラス美術館」という箱物があります。先日も行ってきて、この1年で2、3回は行っていますけれども、観光客向けのものです。</p> <p>そこでは、図書館を併設していて、吹き抜けで本当にかっこいい図書館で、地元の方が週末だけでなく平日も含めて多く来ているということで、施設に活気があるということが僕は大事だと思っています。やはりすいている道の駅には行きたくないというところもありますし、例えば道の駅の中に保育園を作るというこ</p>

ともあるでしょうし、付近に天羽の行政センターもありますので、そういった機能を持っていくとか、そういう形で何か地域に住んでいる人が来ることによって、そこで食堂とかあれば、行政サービスを受けながら食事をしていこうかというような感覚もあったり、そういった使われ方というものもありではないかなと思っております。

また、先ほど市長からもお話がありましたが、徐々に拡大していくというのは、僕も非常に大賛成です。川場田園プラザがそれで成功してきたということがありますので、スタート時点はそれほど大きくなくてもいいですが、ただ拡張が将来できないような土地、また拡張する際にも多額の費用がかかるという土地は、最初から選定しないでほしいかなというのはあります。拡張できるかできないかは、オープンしてから10年、15年後の実力によるところもありますけど、スタートは小規模でもいいけど将来的にうまくいったときに、拡張できるという形は必要なのかなと思います。

それと、廃校に関して、僕は結構難しいなとは思っています。やはりすでに保田小があり、南房総でその実績があるので、富津市で2番目とか3番目の道の駅であればそれは賛成ですが、やはりトイレが綺麗とか新しい施設というか、綺麗さという部分もある程度必要だと思っていて、この富津市、僕の生まれ育った富津市では、今道の駅はないわけで1番目はやはり新規の施設を作って欲しいなという気持ちです。

あと、休憩施設の使い方として、営業車で南房総を回っている人たちなどは、ごはんを食べるとかトイレに行くとかのほかに、合間で会議があると、車内をコワーキングスペースのようにして、オンライン会議をしている方も実は多いですね。

そういった人たちがいる施設で言うと、例えば能登空港は、空港と道の駅が一緒になっていますけど、震災が起こって空港の近くに「NOTOMORI」という仮設飲食施設ができて、震災の影響を受けた飲食店が入ったフードコートと、残りの3分の1ぐらいがコワーキングスペースとなっています。実際に行ってみると、やはり若い人たちがそこで仕事をしたり、オンライン会議をやったりと良い拠点になっているなというのもあるので、そういった施設も考えてほしいなと思っています。

それと、地元のお店、特に飲食店などは、集客面とか駐車場がないとかで苦労しているところがあると思います。そういったところは移転でもいいし、優先的に出店してもらい、地元のお店を中心に展開していく方がセールスの的にもいいかなと思うところがあります。

また、24時間である必要はないかもしれないですけど、コンビニエンスストアがあるかないかによって、夜そこに電気がついていて、あわよくばスターバックスとかタリーズコーヒーみたいなエスプレッソ系のコーヒー店、やっぱりそういったところにも入ってもらう必要があると思います。標準的なものを作っても、わざわざ来るかなというところで、何か1個ぶっ飛んでいるというか、変わったことをやっていないと、やはりメディアで取り上げるということは、僕の中では考えられないと思いますし、そういったところを考えて欲しいなと思っております。

そう考えると、千葉県の道の駅であまり見かけないのは温泉施設だと思っていて、お風呂、大浴場に入れる、今はサウナブームでもあるわけなので、何かそういった形で、アクアラインの渋滞が激しい中で、まあ将来どうなるかはわかりま

委員	<p>せんけど、20時を過ぎれば週末のアクアラインを安く通れるので、その時間まで開けてくれれば渋滞も回避できて、高速道路代が安く浮いた分を、うまくそこでお風呂で使ってもらえる。お風呂はぜひこの規模でも入れてほしいというのが個人的な思いです。以上です。</p> <p>今回、導入規模等を示していただいた中で、駐車場の台数と、防災の面で言ったときに、やはり必要な面積が1.5～2.0ヘクタールなのかなというところと、あと各委員の方から、最初は小さい中でも拡張できるというところで計画的なものが必要だと思いました。</p> <p>やはり、拡張ありきで考えるのであれば、将来的な計画、周りの住環境、それと他の委員からもありましたけど、民間施設の導入等も何か計画じゃないですけど、目論見を含んだ中で、これができたら周りがもうちょっと栄えるというような考えも入れた中で、もう少し場所の選定をした方がいいのかなと思いました。</p> <p>候補地1～3とありますけれど、やはり導入コストがかかりすぎるので、今の富津市の財政の中では、少し疑問が出てしまうかなというところが大きいと思います。であれば市有地なり、もう少し安価で設置できる場所を探すべきかなというのが各委員からもありましたけど、私もそのように感じました。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>いろいろ貴重なお話を聞かせていただきまして、ありがとうございます。</p> <p>道の駅を作るということは、皆さんご存じのとおり設置者、運営者、利用者の三つの側面から見ないといけません。まず、設置というのは市になりますけど、お考えとしては単独型でやられるということでしょうか。それとも、国との一体型で進めていくお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>基本方針では、一体型での整備を目指したいということで記載しております。</p>
委員	<p>ということは、駐車場は国の予算とか、そういう折衝をされているんですか。</p>
事務局	<p>まだ折衝はしておりません。</p>
委員	<p>その辺の予算の決め方は、国土交通省がOKしてくれればいいなというぐらいの話ですか。</p>
事務局	<p>はい。国道事務所の方には、一体型での整備についてお伺いしたときに、やはり必ず認められるわけではないというところでの回答をいただいております。今後はできるだけ一体型で補助金を得ながら整備していきたいと市は考えております。以上です。</p>
委員	<p>地方創生のときは結構、国も道の駅、道の駅と言ってきて、石破さんの時が一番良かったのですが、今は少し厳しくなっている。国に申請すれば多分通るという話ではなくて、つまり一体型にして、駐車場が国からの予算で整備できるということであれば、先ほどから言われるようにハードウェアの箱物のところに、市としては予算を捻出できるのではないかと思います。それについて</p>

事務局	<p>は、早めにどうするかということを決めておかなければいけないと思います。</p> <p>あともう一つ、運営者というのは今の段階ではまだ考えられていないですか。つまり指定管理のような形にするのか、株式会社みたいな会社経営にするのか。どういう形でこれを運営していこうと思いますか。</p> <p>現在は、そこまでは進んでいない状況でして、基本計画策定の中で検討委員会の意見を踏まえながら決定できたらなと考えております。以上です。</p>
委員	<p>多分なかなか難しいのかなと思いますけど、やはりハードウェアとソフトウェアというのは、両方うまくバランスをとって進めていかないと、ハードウェアができましたので誰か運営してくれますかということ、現場の運営者側の考えもあると思うので、やはり元々どういうところにそれを運営委託しようとしているのかということは、なるべく早い段階で明確にしておいた方がいいと思います。</p> <p>あと、今回のターゲットは、道路利用者ではなくて観光者ですね。観光者ということは、あえて言うと、そこを目的にして来てくれるということが、この道の駅の一つの大きな目標になっているのかなと、つまり道路利用者であれば、トイレに行きたい、ちょっと休憩したい人を集めればいいですね。私は、県内 29 か所の道の駅の 28 か所まで回り、先ほどから話が出ている保田小学校にも行きましたけど、あのようによくマスコミに取り上げられるようなところは、そこ自身がもう観光資源になっていますので、そこにたくさん人がやってくる。そうするとやはり駐車場の問題とかもありまして、なかなか土日などは人が入りづらいところもあります。</p> <p>一方で、どことは言いませんが、本当に素通り型のトイレ休憩だけ、ほとんど道の駅の駅長さんもないような、そこで何も売られてないような、そんな道の駅もこの沿線上には結構あります。そこはあえて言えば、駐車場などは素通り型ですから、混むということもほとんどないです。どちらを求めるのかということになると、もし観光客をターゲットにして道の駅を利用したいのであれば、やはりそこを目的化しないといけないと思います。</p> <p>ただ、そういう意味で言うと目的化するのはいいけれど、要はそれなりに光るものがそこに何か見い出せるのかどうか。他に 29 か所ある道の駅の中でも、ここ富津の道の駅に何か光るものがあるのか。そこを目指して多分観光客は来てくれるのだろうと思います。</p> <p>別の言い方をすると、やっぱり強みだと思います。ここで道の駅を作ることの強みというのは何なのか。そこを明確にしないと、結局は 29 か所ある千葉県道の駅の中で、ほとんど素通り型の、道路利用者だけが利用してほとんど人がいない、そこには人も置かないというような、本当に簡素化された道の駅になってしまう。だから、富津市としてこれから作るときに、どちらの方向を目指すのか。私はそこに人が来るのであれば素通り型でもいいと思いますけれども、観光客を目的にして道の駅を作るのであれば、そこを目的とするための材料というものを、やはりある程度早い段階から考えておかなければいけないのではないかと思います。以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は、観光の学会に所属しておりまして、コンテンツなどの研究をしていま</p>

	<p>す。今までは立地条件とかハード面のことで議論がかなり進んでいると思いますけれども、結局はその道の駅というものが地域にとって、どういうことをしたいかと考えたときに、かなりソフト面のことを充実させていく必要があると思います。何が言いたいかというと、私も千葉がフィールドなので29駅を何度も回らせていただいています、各道の駅で成功している事例というのは、それぞれにテーマがあります。</p> <p>例えば、行くだけで健康になる道の駅ということに関して言いますと、睦沢町にウエルネスタウンというところがありまして、ハード面ではコージェネレーションということがいろいろ取り沙汰されて、注目されていますけど、そこは道の駅に行くだけで健康になるという千葉大学の研究があります。おじいちゃんおばあちゃんもそこに行く、そして子どももそこに行くという、そのコンテンツがあってそれに見合ったハード、例えば子どものスペースとか本棚を設置したり、温泉施設を作ったりと。最初にその目的があって、そしてハードを整えるようなことをされているので、一つの成功事例になっているのかなと思います。</p> <p>その睦沢町の事例をこの富津の計画に落とし込んでみますと、どういうことができるかといったら、まず観光目的として考えるなら、先ほど他の委員がおっしゃったそのコンテンツですね。そこで、市長からのお話にもありましたように、その周辺の小規模農家にも参加してもらえるような場所になるということを目的とすれば、まずどれだけの農産物が千葉県産、富津市産としてあり、どれだけの特徴があるかという、農産物の品質とか、あるいは漁港に近いので、海産物とかそういうところのターゲットになるコンテンツをまず調べていただいて、シナリオを書いていただいたら、大体見えてくるのではないかなと感じました。</p> <p>それでそういうことをすると、先ほど他の委員がおっしゃったようなPFIで、民間事業者が飛びつかないような今の状況があるという話がありましたが、もしそのような計画があれば、民間事業者が資金を投入しやすく、また拡張可能性もあるとなれば、「私やります」と手を上げてくれる民間事業者も出てくるのではないかなと思います。</p> <p>まず、千葉県や富津市に特徴のある特産品としての農産物、あるいは海産物、そういったものをリストアップしていただければ、私がいろいろなシミュレーションもできますので、ぜひそれを実行していただきたいなと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
委員	<p>資料1の説明を受けて、やはりなと思いました。お金がかかり過ぎるのではないかなと。富津市は結構財政が厳しいと伺っていましたので、よかったなと逆に思いますね。3候補地では少し厳しいのではないかという気がしました。</p> <p>それで、富津市ではどこがよいかというのを考えたときに、インター近く、それは私もそう思っていますけど、単に道の駅だけで完結させてしまうのは、非常にもったいない気がします。周辺を見てみると、魅力的な田園風景や新舞子海水浴場がありますよね。おそらく都会から来る観光客にとっては、そういったのどかな風景といいますか、地元の方はそう思っていないかもしれませんが、都会の人からみると非常にいい風景に感じるのではないかと思います。それを大事にすべきだと思います。これも観光資源ですよ。なので、道の駅のソフトに絞り込んで考えるのも大事ですけど、少し視点を広げて、周辺に何があるのかなというところまで含めて、道の駅の次の場所を探してみたらどうかと思います。</p>

	<p>その上でPFIとか指定管理、第3セクターなど、いろいろな運営手法はありますけど、私は、管理運営としてそこで経営する方がやりやすいようにしてあげるのが一番大事だと思います。会社から派遣された支配人の方が人事異動で飛ばされてしまい、それから圧倒的に道の駅の色がなくなってしまった話をある道の駅で伺いました。それは、もう行政は関われないですよ。その民間会社が管理運営をしているわけですから、そういうことがありました。</p> <p>なので、二つ目の話になりますけど、そこで経営する方が自由に楽しくのびのびと自分のアイデアを生み出せることが、最も大事だと思っております。</p> <p>それと、先ほど駐車場の問題で、道路利用者と観光客は違うという話がありました。私も静岡県のある道の駅に関わった時、大型トラックが駐車場に駐車していました。それが、あれだけの大きなスペースをとって、1人のドライバーだけがそこに寝泊まりして、トイレを使って、せいぜいカップラーメンだけ買って帰っていくわけですね。その市の方が感想を述べてくれという話だったので、これはどうなのかなと思って伝えました。そして、駐車場の位置を変えましょうと提案しました。前面にトラックが停まっているものですから、道の駅の全体像が見えないんです。これはよくないということで、さっそく今工事をして変えてもらっています。事務局の説明の中で観光客をメインにするということで、これはもっともだと思いますね。それについては、もっと深く考えていくべきだと思います。</p> <p>それから、先ほど申しましたように、道の駅だけじゃなくて周辺の魅力も考えた上で整備すると、おそらく経営される方も非常にやりやすいと思います。近隣住民の軋轢もありますから、これも注意しなければいけないです。総論賛成各論反対と言いますでしょ。富津市では道の駅は2番目に作ってほしい施設という市民アンケート調査が出ていますけど、渋滞とかあったときに生活が困るわけです。そういうところを含めて、道の駅の設置場所を慎重に考えた方がいいかなと思います。</p>
委員長	はい、ありがとうございました。他にございますか。
委員	<p>先ほど委員から「ガラス美術館」の話があって、ふと思い出しましたが、道の駅とは違いますが、岩手県の紫波町の「オガールプロジェクト」を先月少しだけ視察してきました。今度詳しく調べようと思っておりますけれども、盛岡から1時間ぐらいのローカル線の紫波中央駅を降りると、もう目の前にドーンと施設があります。その作り方が上手だなと思ったのが、先ほどの図書館の話じゃないですけども、まず紫波町の町役場をそこに移転させて、そこに大きな図書館を作って、それでそこから今度テナントさんと呼んでくるような手法だったらいいですね。</p> <p>現地に到着したのが夜の6時半ぐらいでしたが図書館はまだやっていたので、行ってみると小学生以下の子どもたちがいっぱいいて、本を持って歩いているんですね。そこがハブになっていて、これから週末にかけてのイベントの練習をするというので、小学生がそこに集まってその発表の練習をしていたり、とにかく何か和気あいあいとしていて、なんかいい街だなって感じました。</p> <p>私が観光客として見たときにいいなと思って、翌朝もそこに行ったらその日は多分学校があるので小学生はいませんが、前日と同じように子供たちは絵本を見たりしている。これを道の駅の議論にするとですね、やはり道の駅は、観</p>

	<p>光客のためにというのもいいですけども、そこがハブになるような富津の皆さんが特に子どもたちが集まってきて、何かここで交流できるような、そういうスペースがあった方がこれからはいいのかなと思っております。</p> <p>観光目的としての交流人口という言葉がありましたけれども、やはり交流するためには、その接点がないといけないので、今後立地のことももちろん大事だと思いますけれども、その辺もぜひ検討いただければなと感じております。</p> <p>あと、たまたま今年のお正月に「うまくたの里」と「とみうら枇杷倶楽部」に行ったんですけども、「うまくたの里」は駐車場のスペースが広いですが、中の施設の面積が狭いなと感じました。一方で「とみうら枇杷倶楽部」の方は、お正月の2日に行ったのもありますけれど、駐車場の割に施設はゆったりしているんですが、なかなか駐車場に入れられないなと思ったので、その駐車場施設と中のいろいろな集客施設の割合をきちんと考えながら設計していくといいのかなと感じました。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ほかに何かございますか。</p>
委員	<p>先ほど各委員からソフトというお話、それと地域振興というようなお話がございました。冒頭で市長から佐貫地域の振興ということで観光の拠点を作っていくというお話もございましたけれども、実を言いますと国道127号の、あの富津中央インター周辺において、佐貫ってどういう町なのかなということであまり行ったことがないので歩いてみますと、佐貫城址という城跡がありました。</p> <p>この佐貫城址ですけど、千葉県に多い山城ですが、多分、市の教育委員会がいろいろ案内看板などを整備されていて、堀であったり曲輪跡であったり、当時のものがまだ残っているということなので、いい観光資源にはなるのかなと思います。</p> <p>それと千葉県内にはあまり城下町ってないですけども、富津はそこでは数少ない城下町、徳川300年にわたって譜代の大名が統治していたという城下町の一部ですけども、風情が感じられるような歴代藩主の御所もあったと思います。今でも江戸時代から続く宮醤油屋さんという、この地域では有名な醤油屋さんがあって、その醤油を使っておせんべいを焼いているというお話も聞きましたので、地元のものについて先ほど他の委員からもご指摘があったように観光資源として、もう一度発掘・再生させて、道の駅とうまくタイアップしたり、そのための施設やコーナーを設けたりしてもよいのかなと思いました。</p> <p>それと、全般的なお話かなと思いますけど、どこで立地させるか、どのくらいの広さだとかというお話もありますけれども、道の駅が最終的に成功するかどうかのポイントは、やはり食べ物「ここでしか買えない」、「ここでしか食べられない」特産物というソフト的なものなのかなと思います。結論から申し上げますと、それらのものを一生懸命考えて、道の駅で提供するというのは、すごく重要なことかなと思います。富津市は県内でも有数の面積があり、このほかにもいろいろな地域があるので、いろいろな産物があると思います。それをこの道の駅に一同に集めて皆さんに提供しつつ、富津市の魅力、そういうものをアピールしていく。そういう拠点にするといいのではないかなと思います。以上です。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。他にございますか。よろしいですか。</p>

委員	<p>内容的に、やはり候補地1～3は金額的にかなり高額になっているでしょう。多分、現実的に厳しいのではないかと私も思っています。先ほど、それこそ委員の方からお話があったように10分以内ということであれば、ぜひとも候補地をもう一度提案していただくのが、最善じゃないかと思っています。そういう中で先ほど佐貫という言葉がでておりますが、国道127号沿い及びその周辺で、おそらく今市の方で考えている面積規模の土地があるのではないかなと思います。</p> <p>市有地であればなおさらですし、逆に市有地じゃなくても、多分まだ可能性は大いにあるのではないかと思っています。ぜひともそのところを、大変お忙しい中やっただいただいていると思いますが、もう一度調べていただけると幸いです。以上です。</p>
委員長	はい。ありがとうございます。
委員	富津市道の駅基本方針では、大体遅くともいつ頃開業したいと考えているのか、共通認識として教えていただければと思います。
事務局	基本方針の中で、令和14年度までには開業したいと考えております。
委員	わかりました。ありがとうございます。
委員長	何か他にございますか。
委員	<p>先ほどの観光のターゲットについてですが、道の駅に関しては、ターゲットとするソフト面について、もしそのシナリオが書ければ書いていただきたいというのがありまして、例を挙げますと、先ほど他の委員がおっしゃった「10分以内であれば」ということにちなんで申し上げますと、静岡で市内から10分以上かかる場所に、「玉露の里」という道の駅があります。そこが1位なんです。何が1位かという、インバウンド客が静岡県内1位で、結構高速道路から離れており、行くのが大変ですけど行ってみましたら、中国からの来訪が制限された中でもベトナムやインド等のツアー客がたくさんいて、実際私も道の駅に入れないぐらいの日でした。そういうことで言いますと、おそらくそのコンテンツさえあれば、10分以内で大丈夫なのかなと思います。</p> <p>市長が先ほどおっしゃっていたように、コストというのは非常に問題であって、最小限のコストで最大限の効果を出すということだとすれば、まずコンテンツを見越したシナリオみたいなことを皆さんで話し合うというか、そういったことをした方がいいと思います。最初の段階になるとは思いますが、それが一番の近道かなと思います。そうすると、学校跡地でよいなら違うところになるし、あるいは10分以内の広いところで拡張可能性があるとなると違うところになる、というようにハードも決まるのではないかと思いました。</p>
市長	<p>ありがとうございます。委員の皆様から大変貴重なご意見をお寄せいただき、感謝申し上げます。</p> <p>まず立地に関して、候補地を3つ示させていただきました。これに関しましては、私自身ETC2.0という制度ができた中で、後発であるがゆえにその優位性</p>

	<p>がなければいけないのではないかという思いから、これまで検討してきたところです。しかし様々な知見をお持ちの各委員のお話を聞いて、確かにもう少し範囲を広げても可能性があるとするならば、今後、委員会に改めて私どもで、こういうところはどうかということを示せば、お示しさせていただくことも必要なのかなと、今日の会議の中で感じております。</p> <p>また、国土交通省への一体型のアプローチや、運営者の関係等々に関しては、私どもとしては、やはり場所が選定できなければいけないだろうという思いが強くなります。その意味ではまだ今の段階では、先ほど事務局が答えたとおりであります。大変申し訳ありませんが、ご理解をいただければと思います。</p> <p>また、ターゲットも最も重要な部分は観光客であると感じておまして、それに関しては、やはり富津には様々な自慢できる製品があると思っておりますし、また天然の海産物のみならず、伝統的な海苔をはじめ、近場で来年度からサーモンの養殖も始まります。また、牡蠣の養殖や、地域によってはアワビの養殖を始めるといってお話も聞こえてきています。そういう意味では安定供給しやすい環境が整うのではないかなと思っております。</p> <p>農業に関しては、今でもメロンやイチゴなど大変人気の製品がありますけれども、逆に、残念ながら遊休農地も増えてきています。もし道の駅が開設できれば、やる気のある若者にその遊休農地をご利用いただいて、新たな製品も含め、季節的にイチゴやメロンが取れない時期に、新たなものを作っていただくとか、そのようなことも仕事をつくるという意味では大変重要であると考えております。</p> <p>また、地元の方に関しては、道の駅の開設が叶えば、今お話したような農水産物を出品する場があれば、職場としても考えられるのではないかなと思っておりますので、今日委員の皆様からいただいたご意見を参考にしながら、再度様々なことをお示しさせていただければありがたいなと思っております。途中ですいません。発言をさせていただきました。お許しいただきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。市長から総括的なご意見をいただいたと思えますけれども、他に何かございますか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>少し細かいことをよろしいでしょうか。観光目的であれば、大型バスがやはり必要だと思います。それだけのエリアをこの駐車場スペースで考えているのかどうか。「とみうら枇杷倶楽部」は、確か最初は観光バスが発着できたけれど途中でやめたんですね。場所をたくさん取る。つまり、トイレタイムで降りるけど、それだけで収益にはなっていないというような話があったと思います。だから本当にそこを観光地化するのなら、大型バスが何台ぐらい入るといふ前提は考えた方がいいのかなと思っております。</p> <p>あともう一つはどこに作るにしても、やはり駅からのアクセスですよ。つまり道路利用者だけが使うのではないということになれば、バスとか他の交通手段で、そこにどういう形で行けるか、そういうアクセス手段というのも一つ明確にしておいた方がいいかなと思っております。</p> <p>あと防災施設で言うと、実は我々も最近道の駅を論じるとき、防災拠点、防災拠点と言いますが、結構予算がかかったり、いろいろと準備しなければいけない施設や用具などがたくさんあったりと、コストがかかりますので、どれほどの防災拠点として考えられているのか。そこもやはり明確にされておいた方がいい</p>

<p>委員長</p>	<p>のではないかなと思います。以上です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>今日いろいろご意見をいただいて、一番の問題は立地場所の話が出ましたが、出たきっかけの一つは、最初に資料1でお示しいただいたインフラに非常にお金がかかり、上下水道あるいは道路整備にお金をかけるよりも、施設の中身にかけて方がいいのではないかといったお話だったと思います。それについては今市長からもお話がありましたけれども、今後もう一度検討していただけるということなので、事務局は大変ですけれどもよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それから二つ目に、周辺との連携、民間事業との連携という話もありましたけど、これは立地に関係してくると思います。この委員会は、立地ありきから始まっていますので、今日はどちらかというソフトから立地を考えようということで、やることによってはこの場所がいいというような話がありました。</p> <p>それから文化的なものとかあるいは漁業や農業の面とか、様々な視点から道の駅のあり方を考えようと。それが先ほどから出ています「目的」ですね。道の駅の目的をいかに作り出していくかということに立地へと繋がっていくのではないかと。そしてその目的に沿ったコンテンツも整備し、コンテンツのシナリオを書こうというのは多分そういったコンテンツのシナリオができ上がれば、場所もここがいいといった、いくつかまた候補が出る可能性もあるというようなことではないかなと思います。</p> <p>あと、運営体制の話が出てきました。多分逆にこれが非常に大事かなという気もしますけれども、ある程度立地が決まって運営を決めるということなのか、先ほど委員の方のお話もありましたように、同時並行で考えていく必要があるのかなというようなこともあります。川場村がうまくいった理由は、事前にいわゆる住民との連携でいろいろな農業とか、あるいは世田谷区との連携とか、そういう連携強化、あるいは地域住民との連携のあり方が出来上がっていたから、ああいった道の駅の内容に繋がっていったのではないかなと思っています。ですから、おそらく次の段階というよりも、やはり段々同時並行で運営対象も考えていく必要があるのではないかなと、想定する段階でもいいと思いますけれども、運営のあり方についても考えていく必要があるのかなというような気もいたしました。</p> <p>また、設置と運営事業者の連携というお話がありました。やはり同時並行でいろんな方面から考えていくということが大事かなと。一番大事なのは多様な視点からの道の駅の目的を今一度明確にすることですね。観光振興というのは基本的に目的作りなんですね。観光というのはディスティネーション、いわゆる目的という言葉が対応していますので、人がそこに集まる目的、住民の方々に対しての目的として明確なのは防災対応などがあります。観光客に対しての目的については、地域の物産だとか文化だとかを生かしながら検討していくということもあるのではないかなと思います。いろいろなことが同時並行でなかなか大変ですけれども、一番重要なところでもありますので、よろしくお願ひできればと思います。</p> <p>他に何かございますか。大体よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それではこれから少し事務局の方は、また作業等いろいろ大変なのかもしれませんが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>以上をもちまして本議題は終了させていただきます。</p>
------------	---

事務局	<p>本日の会議内容は議事録の確定をもって、取りまとめさせていただきますのでご了承いただくようお願いいたします。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p> <p><b>4 閉会</b></p> <p>委員の皆様、オブザーバーの皆様には長時間にわたり、活発な議論、多くのご意見等をいただき、誠にありがとうございました。次回の会議につきましては、日程を調整のうえ、後日改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして第2回富津市道の駅整備検討委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>
-----	---